

インフォメーション

お得な周遊券



- 江の島エスカー
 - 江の島シーキャンドル
 - 江の島岩屋
- 3施設何度でも利用可



- ★江の島サムエル・コッキング苑 夜間イベント開催時のみ販売
- 江の島エスカー
- 江の島シーキャンドル
- 江の島岩屋
- 江の島サムエル・コッキング苑

※ 片瀬江の島観光案内所、藤沢市観光センター、江の島エスカー1区券販売所



周遊券についてのより詳しい情報は
こちらの二次元コードからご確認ください！

駐車場情報

- P 1** 鵜沼海浜公園駐車場
- P 2** 緑陰広場駐車場
TEL:0466(34)9912
- P 3** 西部駐車場
TEL:0466(35)0031
- P 4** 中部駐車場
TEL:0466(35)0036
- P 5** 中部バス駐車場
TEL:0466(35)0037
- P 6** 片瀬海岸地下駐車場
TEL:0466(24)0425
- P 7** 江の島なぎさ駐車場
TEL:0466(29)6574
- P 8** 江の島江ノ電駐車場
TEL:0120(57)2105
- P 9** 湘南港臨港道路附属駐車場
TEL:0466(22)2128
- P 10** 江ノ電駐車センター
TEL:0466(23)2441
- P 11** 藤沢市片瀬東浜駐車場
TEL:0466(55)6514
- P 12** 藤沢市観光協会江の島駐車場
TEL:0466(26)2711

最新の空き情報
についてはこちら！



藤沢市防災アプリ「HAZARDON」について

藤沢市では、災害が起きた時に、防災情報をプッシュ通知で届けるサービスを行っています。
防災アプリ「HAZARDON」をダウンロードして、災害に備えましょう。



「HAZARDON」の詳細やダウンロードはこちらから



観光に関するご質問・お問い合わせ

- 藤沢市観光センター TEL. 0466-22-4141
- 片瀬江の島観光案内所 TEL. 0466-24-4141
- ◀ 藤沢市観光公式HPはこちら

E N O S H I M A

江の島

イラストマップ

提供：みゆねっとふじさわ

江の島誕生の伝説 ～弁財天と五頭龍～

江の島は周囲約4キロメートル、標高60メートルの島です。
切り立った崖や洞窟が織りなす美しい景観が特徴で、
古くから景勝地として、また浮世絵の題材として
人々に親しまれてきました。
江の島には、その誕生にまつわる弁財天と五頭龍の伝説が
伝わっています。

「弁財天と五頭龍伝説」と江の島の成り立ち



昔、この地には五つの頭を持つ
五頭龍が住んでおり、悪さははたらい
て、人々を苦しめていました。



552年(欽明天皇13年)、突如、
空から美しい天女が舞い降りました。
この天女こそ江の島の弁財天です。
弁財天はお供を使い、岩や砂を積ん
で一つの島を作り上げました。
この島が現在の江の島です。



弁財天に恋をした五頭龍は求婚しま
すが、これまで悪行を重ねてきた五頭
龍の願いは受け入れられず、断られて
しまいます。
やがて五頭龍は自らの悪行を悔い改
め、弁財天の夫神となり、人々を守る
誓いを立てました。

この「江嶋縁起」の物語は、能や長唄などによって民衆に広まり、江戸時代
には弁財天への参拝と観光を目的に多くの人々が江の島を訪れました。
このような歴史文化と美しい自然に育まれ、江の島は今なお多くの人々
が訪れる人気の観光地となっています。

1 江の島弁天橋(橋長389m)

初めて江の島に木橋がかかったのは1891年(明治24年)のことでした。それまでは潮が満ちてくると、片瀬浜から江の島へ渡るには舟か人足の背負いに頼りしかかったそうです。車道の江の島大橋(橋長324m)は、1964年(昭和39年)に開催された東京オリンピックに合わせて造られたものです。

2 モース記念碑

大森貝塚の発見者として知られるエドワード・S・モース博士は江の島に東洋初の臨海実験所を開設し、わずか1ヶ月の滞在で多くの海洋生物を研究しました。江の島は、日本における海洋生物学の発祥の地とも言えます。

3 江の島ヨットハーバー

第18回オリンピック競技大会(1964/東京)のヨット競技が開催された際に造られた、日本で初めての競技用ハーバーです。第32回オリンピック競技大会(2020/東京)においても再びセーリング競技会場に選ばれました。約1,000隻のヨットが収容されており、セーリングを楽しむ人々で賑わっています。センタープロムナードには、さまざまな島やタイドプールなどの親水施設が整備され、誰もが気軽に海を感じる場所となっています。

4 青銅の鳥居

江の島の入口に建つ青銅の鳥居は、市指定文化財です。1821年(文政4年)に再建されたものですが、両柱には数多くの寄進者名が彫られ江戸時代の信仰の広さを今に伝えています。掛けられた額には「江の島大明神」と記され、鳥居をくぐると土産物屋さんが立ち並び賑やかな参道に続きます。参道の道幅は昔も今も変わっていません。

5 岩本樓

江戸時代までは岩本院と言われ、弁天社の本宮をあずかった一山の総別当とも言われる由緒ある院でした。弁天信仰が盛んだった江戸時代には、勅使、將軍、大名などの宿泊所として栄えました。歌舞伎の白浪五人男に登場する弁天小僧は、岩本院の稚児がモデルであると言われています。

6 杉山検校の墓

杉山検校は、本名を杉山和一という江戸時代の鍼師です。五大將軍綱吉の病気を治して関東総検校の地位を得ましたが、その時使った管鍼術は江の島弁財天から授かったと伝えられています。お礼に江の島に三重塔を建てるなど弁財天とは縁の深い人物です。

7 福石

ここで石につまづき転んだ盲目の杉山和一は、その時、偶然に木の葉に入った松葉が手に触れたことから管鍼術を考案して、後に関東総検校にまで出世しました。以後、ここで物を拾うと幸運を授かると伝えられ、福石と呼ばれるようになったそうです。

8 江島神社(辺津宮)

島内にある3つの宮(辺津宮・中津宮・奥津宮)を総称して江島神社と呼び、それぞれの宮には、海の守護神である女神が祀られています。辺津宮は、田寸津比賣命(タギツヒメノミコト)が祀られ、1206年(建永元年)に僧良真が荘厳な社殿に遷宮したのですが、現在の社殿は1976年(昭和51年)に改修されたものです。

9 奉安殿 裸弁財天(妙音弁財天)・八臂弁財天

江の島弁財天は、安芸の宮島、近江の竹生島と並び、日本三大弁財天の一つに数えられるほか、七福神の紅一点としても人々の信仰を集めています。鎌倉時代には戦勝祈願(八臂像)、江戸時代から芸能・音曲上達祈願(二臂像)と信仰目的が変わってきました。奉安殿は2015年(平成27年)に改修されました。(拝観料有)

10 八坂神社

江島神社の境内社で、建速須佐之男命(たけはやすさのおのみこと)が祀られています。毎年7月中旬に行われる神幸祭(江の島天王祭)は、八坂神社と腰越の小動神社の神輿が年一度、海上渡御を行う勇壮な祭です。

11 江島神社(中津宮)

市寸島比賣命(イチキシマヒメノミコト)を祀っている中津宮は、慈覚大師が853年(仁寿3年)に創建しました。1689年(元禄2年)に再建、現在の社殿は1996年(平成8年)9月に大改修を終えました。江戸歌舞伎中村座・市村座から寄進された石燈籠など、当時の江の島詣での盛況がうかがえます。2011年(平成23年)に正面両袖に四季を物語る透板欄間塀、また神域に水琴窟を作り一層神厳さを増しました。

12 江の島サムエル・コッキング苑 江の島シーキャンドル(展望灯台)

南洋植物をはじめ四季折々の花が植えられた植物園です。かつてこの地がイギリス貿易商サムエル・コッキング氏の庭園であったことから、「江の島サムエル・コッキング苑」と名付けられています。苑内には国際交流をテーマに、藤沢市の姉妹友好都市コーナーが設けられています。また、高さ59.8m、海拔119.6mの展望台からは、南に大島、西に富士山、東に三浦半島を望むことができます。(夜間イベント開催時は17時以降有料、灯台昇塔料別途)

13 江の島大師

1993年(平成5年)5月に創建された鹿児島島の最福寺(高野山真言宗)の別院です。本堂の赤不動像は高さ6m。素晴らしい中国刺繍仏画が展示されています。お庭にはカルガモが飛来する睡蓮の池もあり、散策できます。

14 伝源頼朝寄進の鳥居

吾妻鏡によれば、鎌倉幕府を開いた初代將軍の頼朝は1182年(養和2年)奥州平泉の藤原秀衡を調伏するため、京都高尾守護寺の文覚上人に命じて弁財天を岩屋に勧請し、参詣の際には鳥居を寄進したとあります。

15 江島神社(奥津宮) 八方睨みの亀

多紀理比賣命(タギリヒメノミコト)を祀る奥津宮は、江戸時代まで本宮御旅所(おたびしよ)といい、岩屋のご本尊を奥津宮に移し、4月~10月の間台風等で岩屋内に波が入り込み本尊が流出するのを避けていました。拝殿の天井画「八方睨みの亀」は江戸時代の酒井抱一画で特に有名です。2011年(平成23年)に御社殿を全面的に改修しました。

16 龍宮

奥津宮の隣にあり、岩屋本宮の真上にあたる場所に1993年(平成5年)、崇敬者の御篤志により建てられたお宮です。御祭神は龍神大神。毎年9月9日に例祭が行われています。江の島は、湧出以来、龍神の坐すところとなり、古来、龍神信仰は弁財天信仰と習合されていました。その密接な結び付きは、「江島縁起」を始め、「太平記」等に多く残されています。

17 龍窓の鐘

この鐘は、江島縁起「天女と五頭龍伝説」の恋物語にちなんで、建てられたもので、その伝説にあやかり、多くの人が鐘を鳴らしに訪れます。

18 芭蕉の句碑

「疑ふな潮の花も浦の春」御岩屋通りを降り稚児ヶ淵を見下ろす踊り場の右から2番目が芭蕉の句碑です。

19 稚児ヶ淵

稚児ヶ淵の名は、鎌倉相承院の稚児白菊がこの淵に投身したことに由来しています。ここから眺める晴れた日の夕景は美しく、かながわの景勝50選にも指定されています。

20 ①江の島岩屋

長い歳月を経て波の浸食でできた岩屋は、第一岩屋(奥行152m)と第二岩屋(奥行56m)から成ります。岩屋は古くから信仰の対象とされ、江戸時代から弁財天信仰の聖地として多くの参拝客が訪れる人気の場所でした。洞内にはさまざまな展示物があり、江の島が歩んできた歴史と文化の一端を見ることが出来ます。全長128mの橋からは相模湾とその向こうに広がる富士山、箱根伊豆方面の景色が一望できます。(入洞料有)

②与謝野晶子の歌碑

洞内には江の島を詠んだ与謝野晶子の歌碑があります。「沖つ風 吹けばまた>> 蛾の灯に志づ<< 散るなり 江の島の洞」

21 寂光山龍口寺

日法上人が建立した日蓮宗門隨一の靈跡寺院です。境内の奥には1910年(明治43年)建立の五重の塔がそびえています。大本堂、大客殿、五重塔はみな総ケヤキ造りです。敷地内には、日蓮聖人が処刑を免れた逸話が伝わる龍ノ口処刑跡や、日蓮聖人法難700年を記念し寄進された仏舎利塔があります。

22 新江ノ島水族館

目の前に広がる相模湾を再現した大水槽では、銀色に輝く8,000匹のマイワシの群れをご覧いただけます。また、世界的に生きたシラスの展示や美しく幻想的なクラゲ展示、ウミガメの浜辺、カワソノカビバラ展示など見どころが満載。イルカショー、クラゲショー、ペンギンショーも楽しめます。